

2023年12月20日

*** 2024年（令和6年） ***

ビジネスパーソンの年賀状に関するアンケート調査

株式会社パイロットコーポレーション（社長：伊藤 秀）は、日本のお正月の習慣で手書き文化の象徴とも言える年賀状をテーマに、毎年『ビジネスパーソンの年賀状に関するアンケート調査』を行っています。年賀状は普段会えない人へのコミュニケーション手段として、様々なツールが登場した現在も、一定の支持を集めています。今回で44回目となる本調査は、ビジネスパーソンを対象に11月17日（金）から約3週間にわたり調査を実施し、主な調査結果は下記となりました。

【主な調査結果】

- 年賀状を「出す」人は半数を割り込む。「出す」理由は、「新年の挨拶」。「出さない理由」は、「LINE等メッセージアプリで代用」。
- 年賀状を出す枚数は平均「36枚」で昨年と同数。もらってうれしい新年の挨拶は「LINE」と「年賀状」の2トップ。
- 年賀状をもらってうれしい相手は「友人・知人」。もらってうれしい年賀状は「手書きのコメント」が入っているもの。年賀状で気になる箇所は「添えられたメッセージの内容」。
- 年賀状を出したくない相手は「会社等の上司」がトップに返り咲き。年賀状を出す相手は「友人・知人」がトップ。
- 年賀状を出す人の多くが「手書き箇所あり」。年賀状の手書きは相手に気持ちを伝える方法。自分がもらって嬉しいことも手書きする理由。
- 「年賀状が必要」という声は半数以上で「年賀状」は現在も支持を集めている。

————— 報道関係者からのお問い合わせ先 —————

株式会社パイロットコーポレーション

Tel. 03-3538-3700（代表）

〒104-8304 東京都中央区京橋2-6-21

【アンケート実施概要】

調査期間 : 2023年11月17日(金)~12月8日(金)

サンプル数(概数) : 397人

年代別サンプル比 :

年齢	男性	女性	合計
20代	39	60	99
30代	33	59	92
40代	62	52	114
50代	40	36	76
60代	11	5	16
計	185	212	397

調査対象 : 企業・団体等に勤務する20代~60代のビジネスパーソン

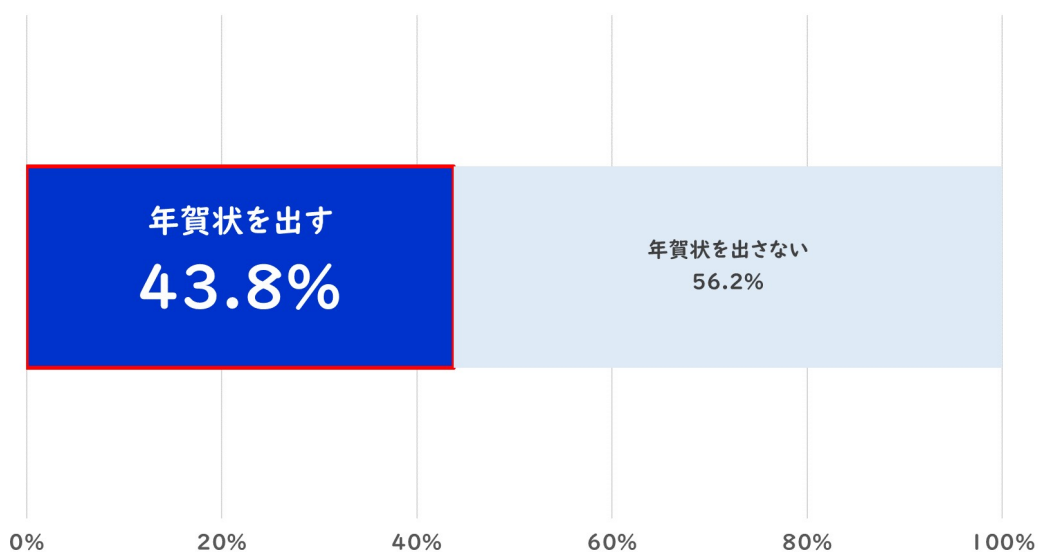
調査方法 : 質問用紙の配付・回収による無記名留置調査

- * 集計データのうち注釈なきものはすべて単数回答を百分率化しました。
- * 単一回答でも小数点の都合上合計値が100%にならないものもあります。
- * 複数回答可の設定では合計値が100(%)を超えます。

1. 年賀状を「出す」人は半数を割り込む。「出す」理由は、「新年の挨拶」。「出さない理由」は、「LINE等メッセージアプリで代用」。

2024年の年賀状を出すかどうかを尋ねた<年賀状の予定 1-1>では、年賀状を「出す」と答えた人は43.8%となり、「出さない」と答えた人が半数を超える結果となりました。年賀状を「出す」と回答した人は前回2023年調査の50.9%から7.1ポイント減少しました。

1-1.来年、年賀状（郵便）を出す予定ですか？（単一回答 N=397）



1-2. 年賀状を出す理由（N=174）、出さない理由（N=223）

	出す理由		出さない理由	
第1位	新年の挨拶として	79.3%	LINE等メッセージアプリで代用	61.0%
第2位	日頃、御無沙汰しているので	47.1%	準備が面倒	45.7%
第3位	毎年、年賀状をもらうので	41.4%	SNS (Facebook, X(旧Twitter), instagram等)で代用	32.7%
第4位	手紙をやり取りする貴重な機会	30.5%	出す習慣がない	26.9%
第5位	お世話になっている(なった)ので	24.1%	相手の住所がわからない	24.2%
第6位	親しさを表すしるしとして	23.6%	出す相手がいない	22.9%
第7位	習慣で・なんとなく	21.3%	メールで代用	20.2%
第8位	近況報告	15.5%	忙して用意できない	11.7%
第9位	義理・しがらみで	14.9%	郵便代などコストがかかる	9.4%
第10位	年賀状をもらうのが好き	13.2%	喪中	9.0%

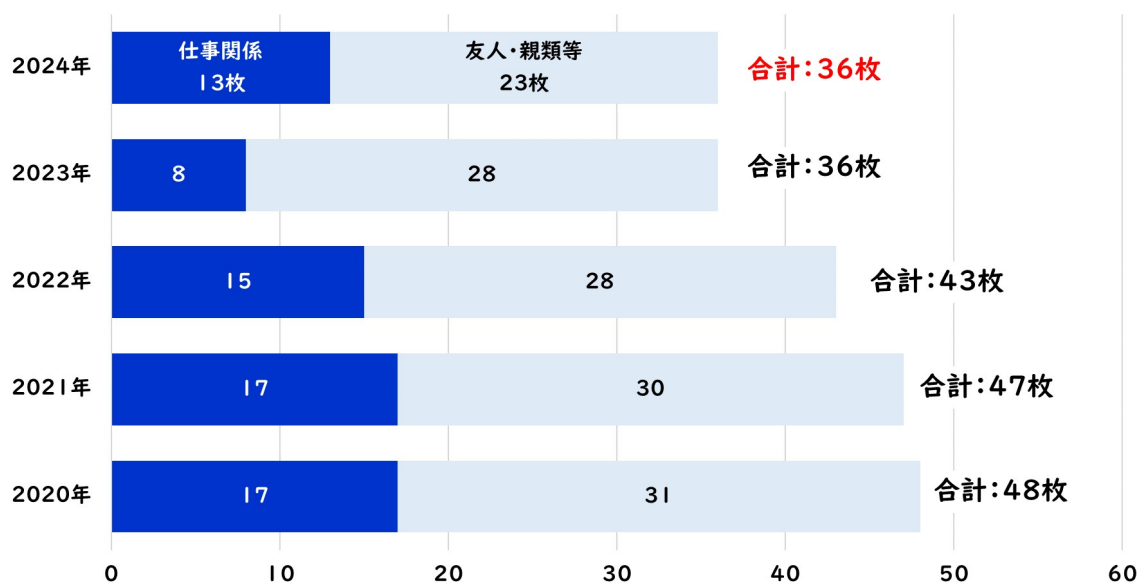
＜年賀状を出す理由 1-2＞では、「新年の挨拶として」(79.3%)、「日頃、御無沙汰しているので」(47.1%)、「毎年、年賀状をもらうので」(41.4%)が数を集めました。一方、＜年賀状の予定 1-1＞で、年賀状を「出さない」と答えた人に＜年賀状を出さない理由 1-2＞を聞いてみると、「LINE 等メッセージアプリで代用」(61.0%)がトップとなりました。

2. 年賀状を出す枚数は平均「36枚」で昨年と同数。もらってうれしい新年の挨拶は「LINE」と「年賀状」の2トップ。

＜年賀状を出す枚数 2-1＞は、平均「36枚」となり、2023年と同数になりました。昨年に比べ、仕事・会社関係が「13枚」と5枚増加していることが分かりました。これは同僚の住所を知らないなどの要因も考えられます。今回の調査での年賀状を出す予定枚数の最多は30代男性の「290枚」となりました。

なお、郵便物数が2001年のピーク時と比べほぼ半減したという報道がありましたが、2001年の同調査では年賀状を出す枚数の平均は「69枚」でした。今回の調査から年賀状でも同様の傾向にあることがわかりました。

2-1. 年賀状の枚数は、何枚くらいを予定していますか？（数値自由回答 N=174）



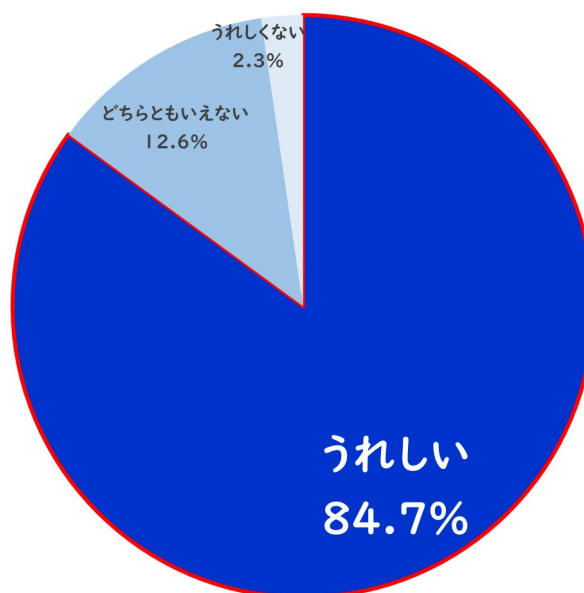
そんな中、＜新年の挨拶で一番うれしい方法 2-2＞を尋ねると、「LINE 等メッセージアプリ」(61.7%)がトップ、次いで「年賀状」(59.2%)になりました。新年の挨拶は「LINE」か「年賀状」の2トップであることが分かりました。

2-2. 新年の挨拶で、一番もらってうれしいのはどの方法ですか？（複数回答N=397）

第1位	LINE等メッセージアプリ	61.7%
第2位	年賀状	59.2%
第3位	メール	11.1%
第4位	電話	9.1%
第5位	Instagram	4.3%

また、実際に＜年賀状が届くとどう感じるか 2-3＞を聞いてみると、84.7%の人が「うれしい」と回答し、年賀状をもらうことは今でもうれしいと感じる人が多いようです。

2-3. 年賀状が届くとどう感じますか？（複数回答N=397）



3. 年賀状をもらってうれしい相手は「友人・知人」。もらってうれしい年賀状は「手書きのコメント」が入っているもの。年賀状で気になる箇所は「添えられたメッセージの内容」。

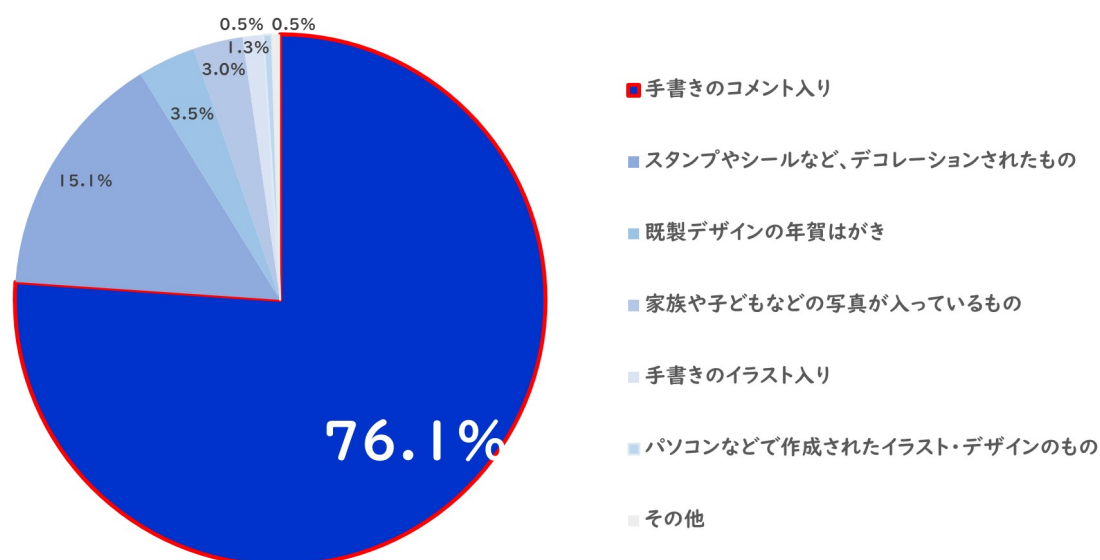
具体的に＜年賀状をもらって一番うれしい相手 3-1＞を聞いてみると、「友人・知人」(59.4%)がトップで、次いで「特にない」(15.1%)、「親類関係」(9.3%)という結果になりました。

3-1. 誰からもらう年賀状が一番うれしいですか？（単一回答 N=397）

第1位	友人・知人	59.4%
第2位	特にない	15.1%
第3位	親類関係	9.3%
第4位	恩師・恩人	7.3%
第5位	学生時代の先輩・後輩	3.3%
第6位	その他	2.0%
第7位	彼・彼女	1.3%
第8位	息子・娘・孫	1.0%
第9位	年賀状友達	0.8%
第10位	社外の仕事関係者	0.5%

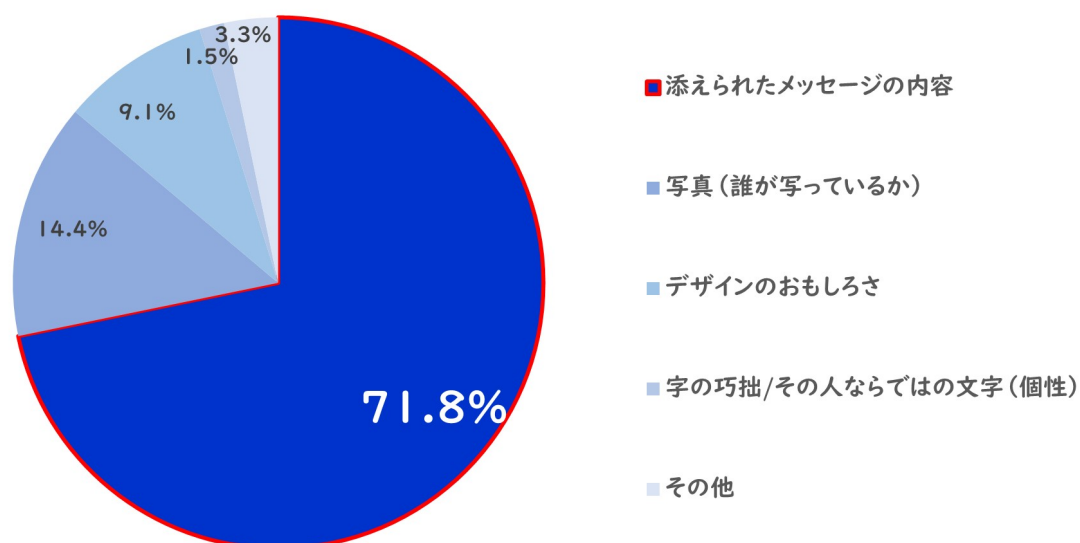
また、＜届いてうれしい年賀状のタイプ 3-2＞を聞いてみると、「手書きのコメント入り」(76.1%)がトップとなり、手書きコメント入りの年賀状の人気が高いことがわかりました。

3-2. 届いてうれしい年賀状のタイプはなんですか？（単一回答 N=397）



また＜届いた年賀状のどこが一番気になるか 3-3＞では、「添えられたメッセージの内容」(71.8%)がトップになり、手書きでメッセージを添えるタイプの年賀状が人気であるようです。次いで、「写真（誰が写っているか）」(14.4%)、「デザインのおもしろさ」(9.1%)という声も上がりました。

3-3. 届いた年賀状のどこが一番気になりますか？（単一回答 N=397）



4. 年賀状を出したくない相手は「会社等の上司」がトップに返り咲き。年賀状を出す相手は「友人・知人」がトップ。

<誰に年賀状を出すか 4-1>を尋ねると、「友人・知人」(90.8%)がトップになり、「親類関係」(70.1%)、「学生時代の先輩・後輩」(29.3%)が次いでランクインしました。

4-1. 誰に年賀状を出しますか？（複数回答 N=174）

第1位	友人・知人	90.8%
第2位	親類関係	70.1%
第3位	学生時代の先輩・後輩	29.3%
第4位	恩師・恩人	28.2%
第5位	会社等の上司・先輩	27.6%
第6位	社外の仕事関係者	26.4%
第7位	会社等の同僚・後輩	24.7%
第8位	年賀状友達	5.2%

また、<できれば年賀状を出したくない相手 4-2>について聞いてみると、「会社等の上司」(44.3%)が約 10 ポイント数字を伸ばし、トップに返り咲きました。「会社等の同僚」(33.0%)、「取引先」(27.0%)、「部下」(21.9%)も上位に入り、仕事関係の人に年賀状を出したくないという声が集まりました。

4-2. できれば年賀状を出したくない相手は誰ですか？（複数回答N=397）

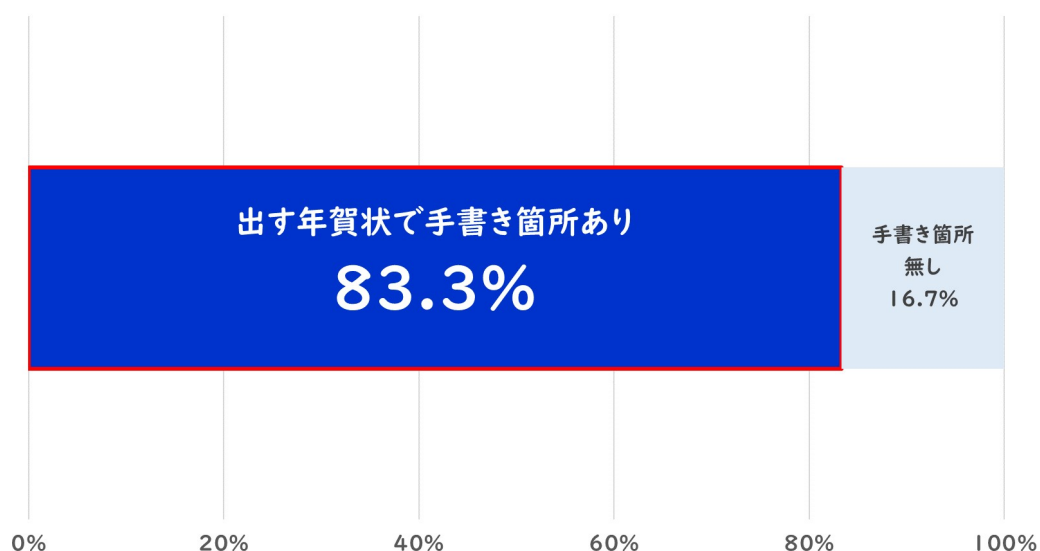
参考：2023年

第1位	会社等の上司	44.3%	33.8%
第2位	出したくない人はいない	41.1%	54.1%
第3位	会社等の同僚	33.0%	23.2%
第4位	取引先	27.0%	22.0%
第5位	部下	21.9%	16.5%
第6位	親類関係	7.1%	4.2%
第7位	年賀状友達	5.3%	6.4%
第8位	その他	2.5%	-

5. 年賀状を出す人の多くが「手書き箇所あり」。年賀状の手書きは相手に気持ちを伝える方法。自分がもらって嬉しいことも手書きする理由。

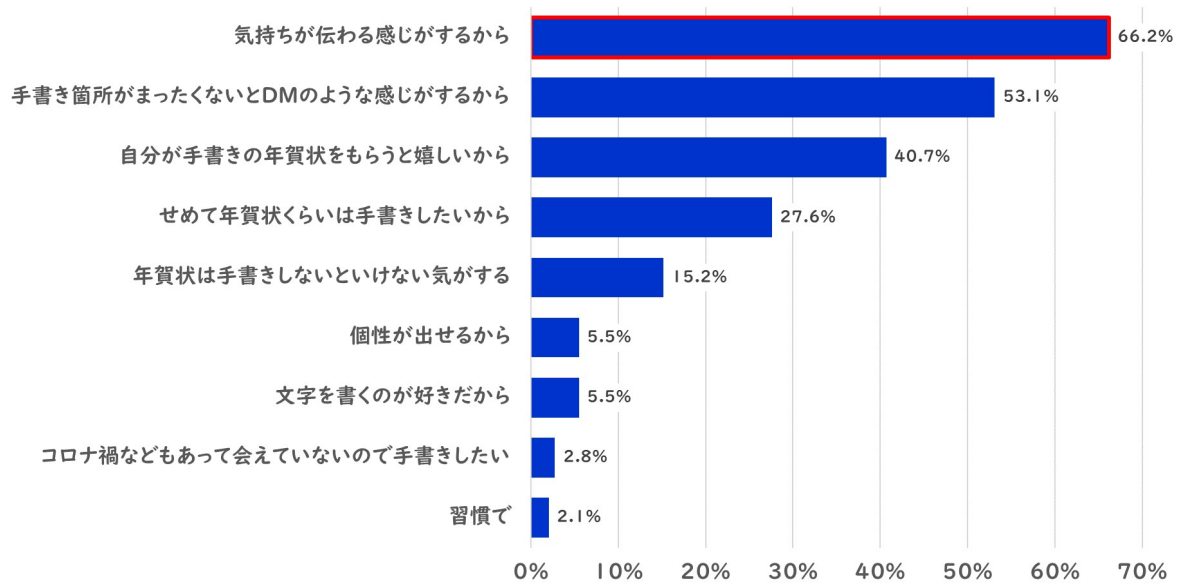
＜年賀状の手書き箇所の有無 5-1＞について、年賀状を出す人の多くが「手書き箇所がある」(83.3%)と回答しました。年賀状を出す人の多くが手書きをする箇所があるということは年賀状の習慣が薄れる中でも、手書きを重視する傾向は変わらないようです。

5-1. あなたが出す年賀状で手書きする箇所はありますか？（単一回答 N=174）



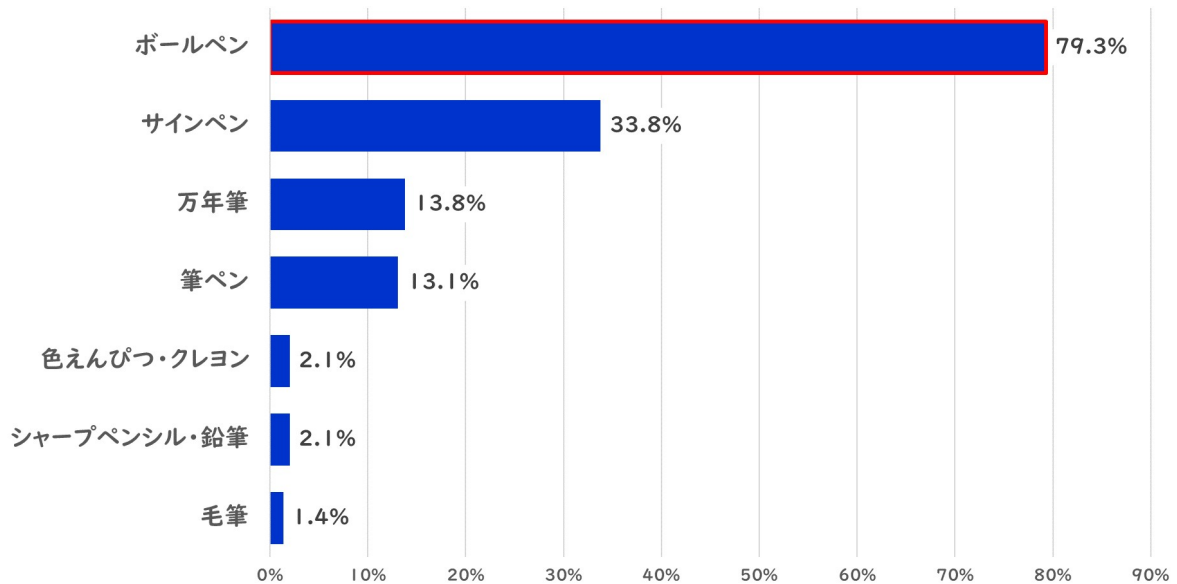
また、＜手書き箇所がある 5-1＞と答えた人(N=145)に、＜手書きする理由 5-2＞を聞くと、「気持ちが伝わる感じがするから」(66.2%)、「手書きの箇所がまったくないと DM のような感じがするから」(53.1%)と回答し、次いで、「自分が手書きの年賀状をもらおうと嬉しいから」(40.7%)が入りました。手書きは相手に気持ちを伝える方法として考えている人が多いことに加え、手書きの年賀状をもらおうと嬉しいということもこの結果からわかりました。

5-2. あなたが年賀状を手書きする理由はなんですか？（複数回答 N=145）



実際に、＜手書きに使う筆記具はなにか 5-3＞という質問では、インキの色や種類も豊富な「ボールペン」が79.3%と多くを占め、次いで「サインペン」(33.8%)、「万年筆」(13.8%)が続きました。

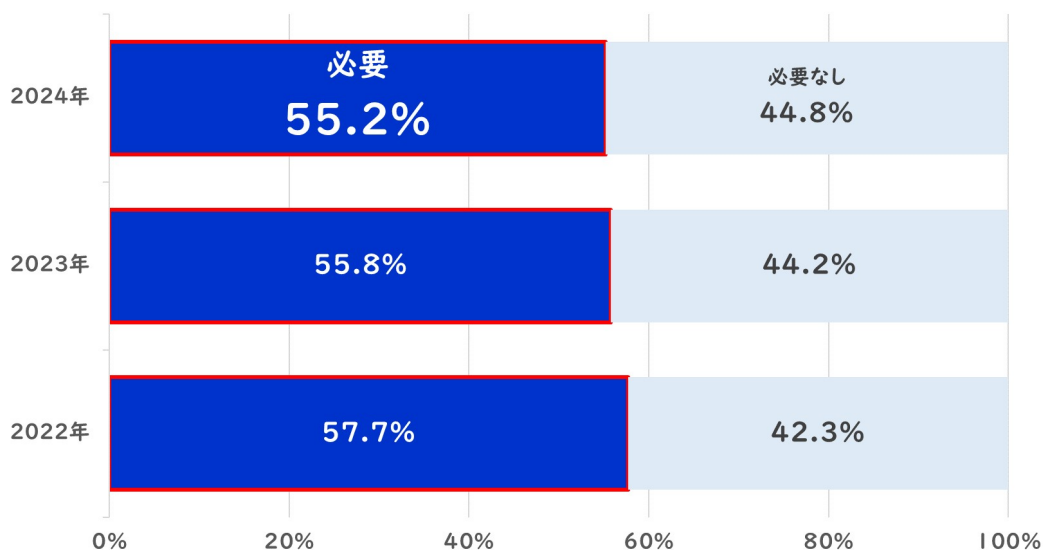
5-3. あなたが年賀状を手書きに使う筆記具はなんですか？（複数回答 N=145）



6. 「年賀状が必要」という声は半数以上で「年賀状」は現在も支持を集めている。

＜今後、年賀状の習慣は必要か 6-1＞について尋ねたところ、55.2%の人が「必要」と答え、年始の習慣である年賀状には一定の支持がある現状がわかりました。

6-1. 今後年賀状の習慣は必要だと思いますか？（単一回答 N=397）



また、それぞれの理由を聞いてみると、「必要」(N=219)と答えた人の中で、「年賀状をもらうと嬉しい」(62.1%)がトップとなり、年賀状はやはりもらって嬉しいものであることがわかります。次いで「お正月らしくなくて寂しい」(48.9%)、「日本の伝統や独自の文化が衰退してしまいそうで心配」(42.9%)と慣習や伝統としての年賀状を思う気持ちがあるがええます。「不必要」(N=178)と答えた人の理由を聞くと、SNS 等別の手段で代用できることや人間関係、準備の手間やコストを理由に「不必要」と考えていることがわかりました。

6-2. 今後年賀状の習慣は必要／不必要な理由はなんですか？（複数回答 N=397）

年賀状の習慣があった方がいいと思う理由 (N=219)		
1位	年賀状をもらうと嬉しい	62.1%
2位	お正月らしくなくて寂しい	48.9%
3位	日本の伝統や独自の文化が衰退してしまいそうで心配	42.9%
4位	会えない人との連絡が途絶えてしまい困る	38.4%
5位	その他	4.6%

年賀状の習慣が不必要だと思う理由 (N=178)		
1位	SNS等別の手段で新年の挨拶をおくるので問題ない	68.5%
2位	「出すor出さない」といった人間関係で悩まなくてすむ	49.4%
3位	準備する手間が省けて楽になる(時間やコスト等)	44.9%
4位	相手の住所がわからない	19.1%
5位	クリスマスカードなどで兼用	6.2%